

旭神経内科リハビリテーション病院

昨年12月には高次脳機能障害支援事業の普及啓発活動の一環として、オンライン方式を利用し「失語症の方の就労支援について」の講習会を行いました。事例に合わせて就労支援の過程を具体的に紹介するといった内容となっており、参加者の皆様からは好評をいただきました。来年度も今回のご意見やご感想を踏まえ企画していく予定です。

当院では以前より運転再開の評価を実施しておりましたが、ドライブシミュレーターの機器を一新し、より詳細な評価が行えるような環境となりました。また、評価から運転再開までの流れを再検討し、他職種との連携を取りやすく、支援が必要な方のニーズに合わせられるような体制の構築を進めています。



亀田リハビリテーション病院

2024年12月20日と2025年2月1日、高次脳機能障害の普及啓発を目的としたドキュメンタリー上映会を実施しました。12月20日はいすみ圏域で初開催となり、高次脳機能障害を知らない方々にとって新たな学びの場となりました。今年2月1日は亀田総合病院で担う広域支援センター主催のリハケア文化祭の一環として三芳村で開催しました。当事者や家族、支援者など多くの方にご参加いただきました。どちらの会でも、目に見えない障害への理解を深め、支援の大切さを学ぶ機会となりました。今後も地域住民や、支援事業所等と交流を深めながら支援の輪を広げていければと思います。



総合病院 国保旭中央病院

令和6年12月7日(土)に「高次脳機能障害 当事者・家族・支援者交流会」を開催しました。今年度2回目となる今回は、「社会リハビリテーションとは？」というテーマで、千葉県千葉リハビリテーションセンター更生園の職員さんをお招きし、更生園での支援内容や事例を通して社会リハビリテーションについてご説明頂きました。その後は3グループに分かれ交流の時間としました。各々の生活の中での困りごとや今後の目標などが話題に挙がり、どのグループも盛り上がりました。

令和7年度も年2回の開催予定です。参加者が少しずつですが増えてきていますので、今後も当事者・ご家族同士の交流、支援者事業者の方々との情報共有の場になるように企画していきたいと思っています。



編集後記

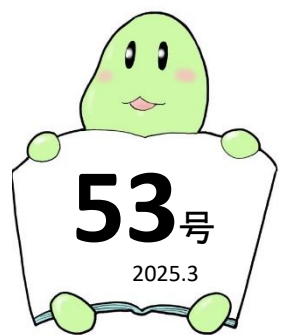
今年度は、52号の巻頭でお伝えした「高次脳機能障害 支援養成研修」という大きなイベントがありました。無事に(?) 終えることができ、ホッとしております。次年度も、養成研修だけでなく皆様のお役に立てるような様々な研修を、継続して実施していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

53号のセンター長コスプレはくまモンです。当時、熊本を応援しよう！という気持ちで扮しました。なかなか妙にスリムで不思議な生き物ですね… 次回もお楽しみに (編集担当: K)



こ～じのう

掲示板

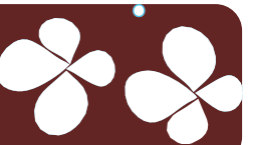


- 支援センターだより
- 全国の動き・イベント講習会報告

こ～じのう掲示板は千葉県千葉リハビリテーションセンターや千葉県、全国の高次脳機能障害に関わる情報を紹介する広報誌です

菜の花メッセージ

菜の花メッセージは、高次脳機能障害支援にかかわる方々から、応援メッセージをいただき掲載しております。



亀田リハビリテーション病院より ごあいさつ

亀田リハビリテーション病院
院長

下地 尚
しもじ たかし



こんにちは。亀田リハビリテーション病院の院長を務めさせていただいております、下地尚です。亀田リハビリテーション病院は、2004年6月の開院以来、南房総地域における回復期リハビリテーション医療の要として、多くの患者さまの回復を支えてまいりました。

院長に就任した昨年度は開院20周年という節目に当たる年であり、その責任の大きさを痛感しながら時間があっという間に過ぎてゆきました。

しかしながら、2025年度は腰を据えて、新たなステージに向け、先進的なチャレンジをしてゆきたいと考えております。

就任当初から我々が目指すのは、単なる医療提供だけではないと考えておりました。スタッフが安心して働き続けられる環境を整え、成長と自己実現を追求できる病院を再構築することも重要な柱としています。患者さまが笑顔で暮らしていただけるよう努力するだけではなく、スタッフ一人ひとりが心から満足し、自信を持って患者さまに接することができる職場環境を作ることで、より質の高いリハビリテーション医療が実現できると信じています。

また当院の強みとしては、亀田メディカルセンターの一員であることです。キャンパス内に隣接する亀田総合病院や亀田クリニックとの密接な連携により、全ての治療フェーズにおいて質の高い医療を提供できることです。患者さまの安全で効果的な機能回復を目指し、疾患管理から個別訓練、栄養管理、生活機能向上のための看護とケアまで、包括的な支援を行っています。

これからも千葉県の高次脳機能障害支援事業の普及活動ならびに拠点機関の一つとしての実診療に関して、スタッフと共に貢献してまいります。20周年を過ぎた今、新たなステージに向けた私たちの挑戦に、どうぞご期待ください。

こ～じのう
掲示板

2025.3 vol. 53

発行日 ■ 2025年3月31日

発行 ■ (社)千葉県身体障害者福祉事業団 千葉県千葉リハビリテーションセンター
千葉県緑区菅田町1-45-2 TEL 043-291-1831(代)内線198

発行責任者 ■ 地域支援センター

高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]

部長 森戸 崇行

http://www.chiba-reha.jp/ ※ホームページからもご覧いただけます



令和6年度 関東甲信越ブロック・東京ブロック合同会議

2024.11.13
オンライン開催

関東の10県が参加し開催されました。最初に国リハからの情報提供として、「高次脳の診療に係る実態把握と課題の検討のための研究(国リハ/今橋先生)」の説明がありました。続く質疑応答では、高次脳機能障害支援養成研修の実施状況や運転再開のための評価等の各県の状況共有を行いました。後半の意見交換では、当事者会の実施状況および、実施主体や運営方法や地域での支援体制作りについて等、各県の取り組みの情報交換を行いました。



令和6年度 高次脳機能障害支援ネットワーク連絡協議会

2025.1.10
千葉リハ&オンライン

県内四支援拠点機関及び支援拠点機関以外の関係機関40名弱が、対面もしくはWebにて参加されました。四つの支援拠点から、令和6年度事業実施状況と次年度計画の報告がありました。特に力を入れていることと現状の課題に関しても報告がありました。その後、諸々の質疑応答がありました。県内の支援状況を理解するよい機会になりました。今後、一支援拠点を超えて何に取り組めるか広い視点で考えていこうと思います。



令和6年度 第2回高次脳機能障害支援普及全国会議

2025.2.14
オンライン開催

2025年2月14日に令和6年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会がオンライン開催されました。支援普及事業、調査研究についての動向や精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)についての説明と地域支援ネットワーク構築促進事業の活用について、茨城県、愛知県、滋賀県から報告をいただき、質疑応答での意見交換がされました。各取組みを聞き、地域に応じたネットワーク構築の重要性を学ぶ機会にもなりました。



令和6年度 第2回高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議・シンポジウム

2025.2.14
オンライン開催

今回は【当事者家族会との関わり、家族交流の支援について】というテーマで行われました。前半のシンポジウムでは福島県の当事者家族会と支援拠点との関わりの発表、愛知県の家族支援の発表があり、後半のグループ情報交換会では各支援拠点と当事者家族会との関わり・家族交流の支援についての現状や課題を話し合いました。地域ごとに家族会や支援拠点との関わりが異なり、さまざまな取り組みについて学ぶ機会となりました。



令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において高次脳機能障害を有する方への支援が評価され、加算がつくこととなりました。この加算は、相談支援事業所と通所サービス(自立訓練(機能訓練)等)及びグループホームを対象としたものとなっています。

障害福祉サービスにおける 高次脳機能障害を有するものへの支援の充実

① 相談支援事業所

高次脳機能障害の支援者養成に関する研修を修了した常勤の相談支援専門員を配置している旨を公表している

高次脳機能障害支援体制加算(Ⅰ) 60単位

現に、高次脳機能障害を有する利用者に対して指定計画相談支援を行っている場合

高次脳機能障害支援体制加算(Ⅱ) 30単位

該当する利用者がいない場合



② 通所サービス(自立訓練(機能訓練)等)及びグループホーム

高次脳機能障害を有する利用者が一定数以上あって、専門性を有する職員が配置されている場合

高次脳機能障害者支援体制加算 41単位/日

高次脳機能障害を有する利用者が全利用者の100分の30以上であって、高次脳機能障害の支援者養成に関する研修を修了した従業員を事業所に50:1以上配置している場合



令和6年度 高次脳機能障害支援養成研修 開催しました！！

★ R7年2月6日～2月7日 定員50名 @千葉県庁

★ 事前オンライン受講760分(レポート課題あり) + 現地研修(演習中心) 9:30～16:30



▲今回の会場：県庁の中庁舎



▲大会議室にて



▲うずたかく積まれたテキスト
(これで1日分！)



▼実際の面談場面を再現する演習も…

千葉県で初めての養成研修！国立障害者リハビリテーションセンターが開発したパッケージに沿って、千葉県ならではの情報もお伝えできるよう工夫しての開催でした。事前オンライン受講は、短い期間で多くの情報をインプットすることとなり、お忙しい支援者の皆様には大変だったかと思われます。しかし、続く現地研修では、そこで得た知識・学びを活かして活発なディスカッションが行われていました。

千葉リハのスタッフが講師およびファシリテーターを務めさせていただきましたが、ご参加された皆様の姿勢や発言から学ぶことも多く、今後も県全体で高次脳機能障害支援を盛り上げていきたいと感じた研修でした。(運営スタッフ)



▲県の担当者より
修了証書をもらう
「お疲れ様でした♥」



習志野市役所 研修会

「高次脳機能障害の特性と対応 & グループワーク」

地域では高次脳機能障害のある方の受け入れ事業所が少ないことや対応に困っている、ということで、習志野市役所において相談支援事業所、就労継続支援A型・B型、グループホームなどに勤務する支援者の方を対象として、基礎知識の講義とグループワークを行いました。支援者の方たちに高次脳機能障害の症状と対応のコツを知っていただき、自分達の事業所でも「やれるかも？」と思っていただけるよう、グループワークでは具体的な事例を紹介し、対応を共有しました。終了後、参加した方の地域でも同様の研修をしてほしいとの依頼もいただき、地域での受け入れに手ごたえを感じました。



▲過去にグッドデザイン賞を受賞した市役所建物

2024.10.7
習志野市役所

青年期当事者・家族合同グループ ～働く先輩の声を聴こう～

「給料に見合った働きとは？」「そもそも自分に合う仕事って…？」など、「働くってどういうこと？」をテーマに、第一部では講義を行いました。働く上で求められること、必要時にはサポートを受けて働くことの重要性を学びました。

第二部では、実際に働く先輩から体験談をお伺いしました。現在の働き方に至るまでの経緯、会社から受けている配慮等、その当時の感情を交えてお話してくださいました。講演後の質問タイムでは、当事者・家族の方々が就労に対する不安や葛藤等、様々な思いを共有されており、実りある時間となりました。



▲先輩とお母様の貴重なお話を真剣に聞く参加者のみなさん

2024.10.26
千葉リハ

小児高次脳家族グループ 当事者体験談～学校生活を中心に～

「就労している当事者の体験談」をテーマに行いました。当事者Aさんは小児期に受傷され、回復期のリハビリを経て小学校に復学しました。発症から現在の就労に至るまでの経過について、学校生活を中心に、その時々での体験や思い、周囲のサポートなどについて話してくださいました。7家族といつもより多くのご家族が参加され、関心の高いテーマであった事がうかがえました。Aさんが明るく前向きに語る様子に、「励みになった」と感想を述べた参加者もあり、同じ障害を持つ子どもの親として、Aさんに元気づけられた会でもありました。



▲緊張しながらもハキハキとお話される当事者のAさん

2024.10.28
千葉リハ

タムス浦安病院 研修会 (OT向け)

タムス浦安病院から依頼を受け「高次脳機能障害のリハビリについて」と「千葉リハ回復期OTの高次脳機能訓練の取り組み」の2部構成で研修を行いました。前半は高次脳機能障害のリハビリにおいて回復期リハに期待されることを講義し、後半は注意機能を中心に当センターでの訓練内容の実際をお伝えしました。業務後の研修でしたが、参加者は皆熱心で多数の質問があり、活発な意見交換がなされました。高次脳機能障害に対するリハビリの難しさにセラピスト各々が悩みながら取り組んでいることを改めて感じた機会でもありました。



▲勤務終了後の研修会、お疲れ様でした！

2024.10.30
タムス浦安病院

第8回 医療関係者向け

高次脳機能障害 就労支援研修会 (就労移行支援プロジェクト主催)

前年度はオンライン開催でしたが、今年度は対面での開催となりました。前半は高次脳機能障害の概要、支援のポイント、就労支援の実際、など事例紹介を取り入れての講義がなされ、後半は意見交換会がおこなわれました。医療関係者を対象とし、33名が参加され、中には福祉事業所に従事する参加者もいらっしゃいました。急性期回復期慢性期における支援の違いや、地域における課題などを共有し、限られた時間でどのようなアプローチができるか、また支援機関先への引き継ぎなど、活発な意見交換が行われました。



▲研修会

意見交換会▶

2024.11.2
千葉リハ

千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築推進事業 君津圏域実務者研修

2024.11.22
木更津市総合福祉会館

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」とは、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加(就労など)、地域の助け合い、普及啓発(教育など)が包括的に確保されたシステムを指しています(厚労省HPより)。今回君津圏域の研修にて高次脳機能障害を取り上げていただき、基礎知識の講義と事例検討を行いました。参加者の皆様からは活発な意見交換があり、地域を支える支援者の皆様が良好な連携・関係性を構築していることが窺われました。



第20回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会

「失語症・高次脳機能障害の退院後の困り事と工夫」

2024.12.6
千葉市民会館

第20回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会が令和6年12月6日に開催されました。講師にはオンライン言語療法「ことばの天使」主宰 多田 紀子 氏をお招きし、「失語症・高次脳機能障害の退院後の困り事と工夫」についてお話を頂きました。多田先生とはコロナ禍の2021年に行われたST学会で同じセッションになったご縁があり、私自身お話を伺うのを楽しみにしていました。

講義では高次脳機能障害の特性から起こる諸問題について事例を通じて紹介され、実際の支援内容にも触れられており、自身の支援を振り返る良い機会となりました。



▲実践的なグループワーク

第7回 高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会

2024.12.13
千葉リハ

高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会に初めて参加しました。生活版ジョブコーチ支援とは、専門的な資格は不要で、生活に直接関わる支援者がご本人のできる部分を活かしつつ、繰り返しの支援により、生活の一部を自立させていく手法であることを学びました。具体的には、「振り返り」と「見える化」という2つがキーワードとして印象に残りました。グループワークでは事例検討を行いました。各自がアイデアを出し合い、必要な支援を多角的な視点で考えることができました。今回の学びを今後の支援に活かしていきたいと思います。



千葉県障害者グループホーム等支援ワーカー研修会 「高次脳機能障害の特性と対応」 & グループワーク

2025.1.21
千葉県教育会館

10/7に習志野市役所で講演しましたところ、ご参加されていた「GH等支援ワーカーさん」にお声をかけたき、こちらの研修会でもお時間をいただけることとなりました。ワーカーさんたちは、地域の支援者の皆様からのご相談を受け、GHとの間に入ってコーディネートする役割だそうです。高次脳機能障害の方を支援する際、どのようなことを知っておけばよいか、対応のコツ等をお伝えしたところ、「現場の世話人さんや、計画相談の方等にも伝えていきたい、みんなで高次脳の方を支えていきたい」との感想をいただきました。



おゆみの中央病院 勉強会

「高次脳機能障害者の地域支援～生活版ジョブコーチ支援～」

2025.1.22
おゆみの中央病院

生活版ジョブコーチ支援とは、高次脳機能障害者の生活自立支援手法で毎年研修会を開催し、さらに出前研修も行っています。今回は回復期、訪問、外来と幅広く展開している近隣のおゆみの中央病院で、リハスタッフ向けに出前研修を行わせていただきました。事例をもとに具体的な取り組みを紹介し、それぞれの部門で取り入れていただける手法であることをお伝えしました。「前向きに取り組みたい」「認知症支援にも活用できそう」「促しの声掛けの丁寧さ、看護スタッフらとも共有したい」などの感想をいただき、継続して連携をとり実際の取り組みに繋げていきたいと思います。



2024年度 障害知識研修

「高次脳機能障害の基礎知識」

2025.2.19
千葉市ハーモニープラザ

千葉市社会福祉研修センター様からのご依頼で、主に介護保険分野の支援者のみなさまを対象に、研修を行いました。当日は、10時～16時（講義＋グループワーク）で長丁場にも関わらず、みなさん真剣に聴いてくださり、「高次脳機能障害は様々な特性があり、ちょっとした工夫や環境を整えることで、過ごしやすくなるというアドバイスもいただいたので、行動の裏にある原因を考えアセスメントをしていきます」などのお声もいただきました。これからも支援者の置かれている状況や立場に合わせて、研修の内容もブラッシュアップしていきたいと思います。



第22回 高次脳機能障害 交流会

講義「健康管理について」 & 交流会

2025.3.22
千葉リハ

「第22回高次脳機能障害交流会」は、会場の関係で3月末の開催となりました。この原稿を書いている時点ではまだ開催されておりませんので、ここでは予告を掲載させていただきます！昨年度同様、今回も80名近くの方がお申込み下さっています。年に1回ではありますが、この日を楽しみにして下さいの千葉リハ卒業生もいらっしゃるのことも…安全に運営できるよう、スタッフ一同気を引き締めて準備を進めております。当日は元気にお会いできますように！



高次脳機能障害支援センターの近況や支援活動などを報告します。

支援
センター
だより



第58回 日本作業療法学会

秋深し… 美味しいものがたくさん 北海道で 発表してきました！（食べてもきました）

2024年11月9日～10日に札幌にて開催されました。今回、「高次脳機能障害者に対する生活版ジョブコーチ支援の報告－高次脳機能障害支援センターの事例から－」というテーマで、高次脳機能障害者が自立生活をしていくために必要な知識や技術を実際の生活場面で訓練し援助する訪問型の支援（生活版ジョブコーチ支援）について、ポスター発表をしました。発表では、多くの方々に質問をいただいたり、意見交換をすることができたりと、様々な刺激を得ることができました。また、高次脳機能障害支援拠点機関の存在も知らないという声も多く、自身の所属を紹介すると、逆に質問をされることも多かったです。医療機関から外部機関に連携する際に手探り状態となっていることが窺えました。高次脳機能障害支援拠点機関の存在を地域の支援機関に伝えるだけでなく、医療機関にも積極的にアピールしていく必要があると感じました。



第8回 日本安全運転医療学会学術集会

今回のサブタイトルは「外出を支えるまちづくり ～安全な運転再開と移動手段の確保～」でした。



2024年12月15日に一橋講堂（東京都）にて開催されました。前回大会は当センターが学会事務局を担い、千葉で開催した学術集会です。今大会では、『外出を支えるまちづくり～安全な運転再開と移動手段の確保～』をテーマに、大会長である武原格先生の「脳損傷者の運転再開支援に携わってきて」という講演からスタートしました。医学的な内容、地域生活と密接にかかわった内容、最新の情報まで、運転に関し多岐にわたる話題が発表され、議論が行われた熱気あふれる学会でした。次回は2025年11月28日（金）～29日（土）に福井県敦賀市で開催されます。

回復期リハビリテーション病棟協会 第45回研究大会 in札幌

冬真っ盛り…！ 大寒波襲来のニュースの中、果たして飛行機は飛ぶのか…？ ドキドキしながら無事に行ってきました！

2025/2/21～22 回復期リハ病棟協会 研究大会が札幌で開催されました。回復期リハの役割として入院中のリハに留まらず、地域につなぐ、退院後のフォローアップ、などの地域連携についても多く取り上げられていました。自身では生活自立のための支援「生活版ジョブコーチ支援」事例をポスター発表しました。回復期リハ入院中から適切な自立支援を導入し、生活環境での課題と対応の具体化を図ること、その結果を支援手順書に落とし込み、地域支援者に丁寧に説明し伝達することの重要性をお伝えしました。フロアからは手順書やアセスメント等の仕方、繋ぎ方等多くの感想や質問をいただきました。

